

整理番号 J 0073254	発送番号 160705
発送日 平成14年 5月22日	1 / 2
特許出願の届出 拒絶理由通知書	
 特許出願の番号 第062962号 平成14年 5月20日 42315R00 田中 貞嗣 中村 猛 横 特許出願人代理人 第29条第2項 通川条文	

〔前置審査〕

この出版物は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

Footnote

この出版物の下記の請求項に係る発明は、その出版前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出版前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1, 2, 3, 4, 5, 11
- ・引用文献等 1, 2

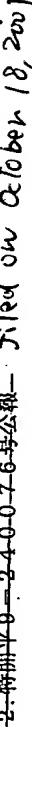
備考

引川文献1記載の「プレミニバッファ26」、「受信バッファ22」は、本発明の「第1バッファメモリ」、「第2バッファメモリ」にそれぞれ相当する。引用文献1記載の発明も、本発明の「第1のバイバスモード」と同様のバイバスモードを有するものである。なお、このようなバイバスモードを有するプリントをネットワークを介して用いる点は引用文献2に記載されている。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

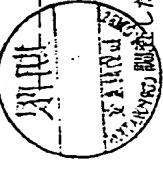
- 1.特判平9-169140引公微引判手配

発送番号 160705	発送日 平成14年 5月22日	2 / 2
特許出願の届出 拒絶理由通知書		
 先行技術文献調査結果の記録		

先行技術文献調査結果の記録

IPC第7版 G06F3/12

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。



PRINTER

Patent Number: JP9169140
Publication date: 1997-06-30
Inventor(s): KAWASAKI RIEKO
Applicant(s): HOKURIKU NIPPON DENKI SOFTWARE KK
Requested Patent: JP9169140
Application Number: JP19950331319 19951220
Priority Number(s):
IPC Classification: B41J5/30; G06F3/12; G06F12/02; H04N1/21
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To accelerate the opening of a host device and to enhance machine use efficiency by allowing the data inputted from a host device to temporarily retract to an auxiliary memory device when the residual capacity of a receiving buffer is reduced and transmitting the data from the auxiliary memory device to a receiving buffer according to the advance of printing processing.

SOLUTION: The data transmitted to a printer 2 from a host device 1 is received by a data receiving processing part 21 to be sent to a receiving data storing direction control part 25 and the residual capacity of a receiving buffer 22 is investigated herein. When the residual capacity is more than a predetermined quantity, the sent data is stored in the receiving buffer 22. Next, a command analyzing/editing processing part 23 successively reads the data from the receiving buffer 22 to convert the same to a drawable system and edits the converted data as printing data of one page unit to send the same to a drawing and printing processing part 24. The drawing and printing processing part 24 draws the sent printing data of one page unit on an image memory and prints the same on printing paper to discharge the printed paper.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-169140

(43)公開日 平成9年(1997)6月30日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J 5/30			B 4 1 J 5/30	Z
G 0 6 F 3/12			G 0 6 F 3/12	B
12/02	5 3 0		12/02	5 3 0 D
H 0 4 N 1/21			H 0 4 N 1/21	

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

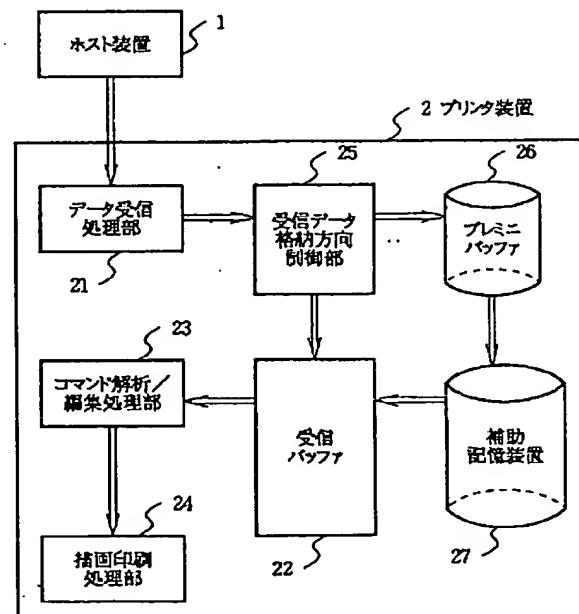
(21)出願番号	特願平7-331319	(71)出願人	000242666 北陸日本電気ソフトウェア株式会社 石川県石川郡鶴来町安養寺1番地
(22)出願日	平成7年(1995)12月20日	(72)発明者	河崎 理恵子 石川県石川郡鶴来町安養寺1番地 北陸日本電気ソフトウェア株式会社内
		(74)代理人	弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 プリンタ装置

(57)【要約】

【課題】 ホスト装置から多量のデータが送られてきた場合でも、受信バッファフルによるプリンタビジーの状態を長時間継続しないでデータの受信を行うことを可能にし、従ってホスト装置の開放を早くしてユーザのマシン使用効率を向上させる。

【解決手段】 ホスト装置から入力したデータを格納するための受信バッファの他に補助記憶装置を設け、受信バッファの残容量が少なくなったとき、ホスト装置から入力したデータを補助記憶装置に一時的に退避させ、印刷処理の進行に従って補助記憶装置から受信バッファにデータを転送する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ホスト装置から入力したデータを格納する受信バッファと、前記ホスト装置から入力したデータを一時的に退避させる補助記憶装置と、前記受信バッファの残量および前記補助記憶装置内のデータの有無によって前記ホスト装置から入力したデータを前記受信バッファまたは前記補助記憶装置の何れに格納するかを判断し前記受信バッファに空き容量がある場合に前記補助記憶装置のデータを前記受信バッファに転送させる受信データ格納方向制御部とを備えることを特徴とするプリンタ装置。

【請求項2】 ホスト装置からのデータを受信するデータ受信処理部と、前記データ受信処理部が受信したデータを格納する受信バッファと、前記データ受信処理部が受信したデータを一時的に退避させる補助記憶装置と、前記受信バッファの残量および前記補助記憶装置内のデータの有無によって前記データ受信処理部から受信したデータを前記受信バッファまたは前記補助記憶装置の何れに格納するかを判断し前記受信バッファに空き容量がある場合に前記補助記憶装置のデータを前記受信バッファに転送させる受信データ格納方向制御部とを備えることを特徴とするプリンタ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報処理システムにおいて出力装置として使用され、ホスト装置からデータを受信して印刷を行うプリンタ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 情報処理システムにおいて出力装置として使用され、ホスト装置からデータを受信して印刷を行う従来のプリンタ装置は、例えば特開平4-101878号公報に開示されているように、用紙切れが発生したとき、制御部から中央処理装置に対して送出する一時中断信号を禁止し、入力切換部に対してプリンタ側に送出する信号をハードディスク側に切換える信号を送出することにより、プリンタの用紙切れが発生しても、中央処理装置からのデータの送信を継続して受信することができるようしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上述したような従来のプリンタ装置は、ホスト装置（中央処理装置）からプリンタ装置にデータを送信しているときにプリンタの用紙切れが発生してもデータの送信の一時中断を回避できるため、ホスト装置からプリンタ装置に対するデータ送信の効率化に有効であるが、ホスト装置から入力したデータを格納しておく受信バッファの容量に限度があるため、ホスト装置から多量のデータが送られると受信バッファが満杯（フル）となってプリンタビジーの状態となってホスト装置からデータを受信することができなくなり、受信バッファフルの状態が長く続くと、ホスト装

置の開放が遅れるという問題点を有している。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明のプリンタ装置は、ホスト装置から入力したデータを格納する受信バッファと、前記ホスト装置から入力したデータを一時的に退避させる補助記憶装置と、前記受信バッファの残量および前記補助記憶装置内のデータの有無によって前記ホスト装置から入力したデータを前記受信バッファまたは前記補助記憶装置の何れに格納するかを判断し前記受信バッファに空き容量がある場合に前記補助記憶装置のデータを前記受信バッファに転送させる受信データ格納方向制御部とを備えている。

【0005】 すなわち本発明のプリンタ装置は、ホスト装置からのデータを受信するデータ受信処理部と、前記データ受信処理部が受信したデータを格納する受信バッファと、前記データ受信処理部が受信したデータを一時的に退避させる補助記憶装置と、前記受信バッファの残量および前記補助記憶装置内のデータの有無によって前記データ受信処理部から受信したデータを前記受信バッファまたは前記補助記憶装置の何れに格納するかを判断し前記受信バッファに空き容量がある場合に前記補助記憶装置のデータを前記受信バッファに転送させる受信データ格納方向制御部とを備えている。

【0006】

【発明の実施の形態】 次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0007】 図1は本発明の一実施形態を示すブロック図である。

【0008】 図1に示すように、本実施形態のプリンタ装置2は、データ受信処理部21と、受信バッファ22と、コマンド解析／編集処理部23と、描画印刷処理部24と、受信データ格納方向制御部25と、プレミニバッファ26と、補助記憶装置27とを有している。

【0009】 データ受信処理部21は、ホスト装置1からデータを受信して受信データ格納方向制御部25に送る。

【0010】 受信データ格納方向制御部25は、データ受信処理部21から送られてきたデータを受信バッファ22またはプレミニバッファ26を介して補助記憶装置27に送って格納させる。受信バッファ22に格納されているデータが少ない場合は受信バッファ22に送って格納させ、受信バッファ22に格納されているデータが多くなって残容量（データを格納していない部分の記憶容量）が少なくなった（受信バッファフル直前）ときは、プレミニバッファ26を介して補助記憶装置27に送って格納させる。補助記憶装置27に送っている間に、受信バッファ22が格納しているデータをコマンド解析／編集処理部23に送って受信バッファ22の残容量が多くなると、補助記憶装置27に格納しているデータを受信バッファ22に送り、受信バッファフル直前ま

で格納させる。補助記憶装置27のデータがなくなりかつ受信バッファ22が受信バッファフル直前でなきときは、再びデータを受信バッファ22に送る。

【0011】補助記憶装置27は、受信データ格納方向制御部25からプレミニバッファ26を介して送られてきたデータを格納し、受信バッファ22の残容量が受信バッファフル直前でなきときは、受信バッファ22に転送する。

【0012】受信バッファ22は、受信データ格納方向制御部25または補助記憶装置27から送られたデータを格納するランダムアクセスメモリである。

【0013】プレミニバッファ26は、高速アクセスが可能なランダムアクセスメモリで、受信データ格納方向制御部25から送られてきたデータを一時的に格納して補助記憶装置27に送る。

【0014】コマンド解析／編集処理部23は、受信バッファ22から順次データを読み出して描画可能な形式に変換し、1ページ単位の印刷データに編集して描画印刷処理部24に送る。

【0015】描画印刷処理部24は、コマンド解析／編集処理部23から送られてきた1ページ単位の印刷データを画像メモリに描画し、それを印刷用紙に印刷して排出する。

【0016】次に、上述のように構成したプリンタ装置の動作について説明する。

【0017】ホスト装置1からプリンタ装置2に送信されてきたデータは、データ受信処理部21で受信し、データ受信処理部21から受信データ格納方向制御部25に送る。

【0018】受信データ格納方向制御部25は、受信バッファ22の残容量を調べ、残容量が所定の量（僅少量）よりも多いときは、データ受信処理部21から送られてきたデータを受信バッファ22に格納させる。受信バッファ22にデータが格納されると、コマンド解析／編集処理部23は、受信バッファ22から順次データを読み出して描画可能な形式に変換し、1ページ単位の印刷データに編集して描画印刷処理部24に送る。描画印刷処理部24は、コマンド解析／編集処理部23から送られてきた1ページ単位の印刷データを画像メモリに描画し、それを印刷用紙に印刷して排出する。これによって受信バッファ22の格納データが減少し、残容量が増えてゆく。

【0019】ホスト装置1からプリンタ装置2に対するデータの送信速度が、コマンド解析／編集処理部23において受信バッファ22からデータを読み出して処理する速度よりも速い場合は、受信バッファ22の残容量が次第に減って残容量が0（受信バッファフル）の状態に近く。このようにして残容量が所定の量（受信バッファ

フル直前）になった時点で、受信データ格納方向制御部25は、データ受信処理部21から送られてきたデータを高速アクセスが可能なプレミニバッファ26を介して補助記憶装置27に送って格納させる。

【0020】補助記憶装置27がデータを格納しているとき、受信データ格納方向制御部25は、受信バッファ22の残容量をチェックし、受信バッファ22の残容量が受信バッファフル直前ないときは、補助記憶装置27が格納したデータをその先頭のデータから順次に受信バッファ22に転送させる。この動作は、補助記憶装置27の中のデータがなくなるまで継続する。補助記憶装置27の中のデータがなくなると、受信データ格納方向制御部25は、受信バッファ22の残容量をチェックし、受信バッファ22の残容量が受信バッファフル直前ないときは、データ受信処理部21から送られてきたデータの送り先を受信バッファ22に変更し、受信バッファ22に格納させる。

【0021】このようにして、補助記憶装置27を活用しながら受信バッファ22を効率よく使用することにより、ホスト装置1から多量のデータが送られてきた場合でも、受信バッファフルによるプリンタビジーの状態を長時間継続しないでデータの受信を行うことが可能になる。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のプリンタ装置は、ホスト装置から入力したデータを格納するための受信バッファの他に補助記憶装置を設け、受信バッファの残容量が少なくなったとき、ホスト装置から入力したデータを補助記憶装置に一時的に退避させ、印刷処理の進行に従って補助記憶装置から受信バッファにデータを転送することにより、ホスト装置から多量のデータが送られてきた場合でも、受信バッファフルによるプリンタビジーの状態を長時間継続しないでデータの受信を行うことが可能になるという効果があり、従つてホスト装置の開放が早くなってユーザのマシン使用効率を向上させることができるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態を示すブロック図である。

【符号の説明】

40	1	ホスト装置
	2	プリンタ装置
	21	データ受信処理部
	22	受信バッファ
	23	コマンド解析／編集処理部
	24	描画印刷処理部
	25	受信データ格納方向制御部
	26	プレミニバッファ
	27	補助記憶装置

【図1】

